

6月26日：午後に入って売り圧力が高まるも、指数は上昇

午後に入って流動性の高まりとともに売り圧力も強くなったが、指数は上昇して終えた。

ホーチミン取引所のVN指数は月曜日に上昇して始まり、5連騰となった。

VN指数は2.65ポイント（0.23%）高の1,132.03ポイントで取引を終えた。先週は1.3%ほど上昇していた。

しかし、値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回っていた。さらに流動性も前日に比べて上昇した。出来高と売買代金はそれぞれ15%、13%増の10億株と20.4兆ドンだった。

大型株で構成されるVN30指数は4.47ポイント（0.4%）高の1,131.23ポイントで取引を終えた。

VN30指数採用銘柄では、18銘柄が上昇、8銘柄が下落していた。

相場の上昇と同じく、ビナミルク（VNM）などの大型株が好調だった。その他、ベトナムラバーグループ（GVR）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、ペトロベトナムガス（GAS）、テクコムバンク（TCB）なども0.84-3.4%高となった。

不動産セクターも好調だった。ノバランド不動産（NVL）は2.76%高、キンバックシティ（KBC）は3.45%高、DICグループ（DIG）は1.32%高で取引を終えた。

一方、ビンホームズ（VHM）、サコムバンク（SCB）といった一部の大型株に売りが集まった。

サイゴンハノイ証券のアナリストは、1,125ポイントの抵抗線を上に抜けたことで短期的な反発が強いとコメントする。中長期的にはマクロ経済状況が安定すれば、1,500ポイントを超える可能性を指摘している。

短期的には1,150ポイントを目指す展開となるだろうと同社は予想した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.53ポイント（0.23%）安の231.01ポイントで取引を終えた。

出来高は 1.2 億株、売買代金は 2.1 兆ドンだった。

一方、外国人投資家は売り越しだった。両市場合わせて 3,648 億ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。